



第5学年 学年懇談会資料

本日の日程

(1) 授業参観	13:15~14:00 (各教室)
※ 児童下校	14:25
(2) PTA専門部会	14:05~14:35
	教養部 (図書室) 環境厚生部 (理科室)
(3) PTA全体会	14:40~15:00 (図書室)
○ PTA役員紹介	
○ 教職員紹介	
○ 各部会報告	
(3) 学年懇談会	15:05~15:50 (各教室)

学年懇談会

- 1 はじめのことば
- 2 担任あいさつ
- 3 学年委員さんの紹介

- 4 懇談
 - (1) 第5学年経営方針について
 - (2) 5年生の学習と生活について
 - (3) 子どもたちの様子について
(保護者の方々から)
 - (4) その他
修学旅行について
卒業アルバムについて

- 5 おわりのことば



(1) 第5学年経営方針

睦合小学校教育目標

学び合い、睦み合い、元気でねばり強い むつみっ子
 ○学び合う子ども ○睦み合う子ども ○元気でねばり強い子ども

進んで学ぶ子ども	思いやりのある子ども	元気で粘り強い子ども
第 5 学 年 の 目 標		
◎ 「知りたい」「できるようになりたい」という思いをもって学びに向かい、友達と共に学び合う活動を通して、知識や技能、考え表現する力を身に付ける。	◎ 互いに違いを認め合い、相手の思いを受け止め寄り添って行動するとともに、みんなのためになることを考え、創意工夫しながらやり遂げる。	◎ 基本的な生活習慣を身に付けるとともに、健康で安全な生活の仕方について考え実践したり、進んで運動したりして、元気に生活する。

- ◇ 自分の考えをもつ
- ◇ 友達と学び合う
- ◇ 共通点や相違点に気付く
- ◇ 自分の考えを更新する

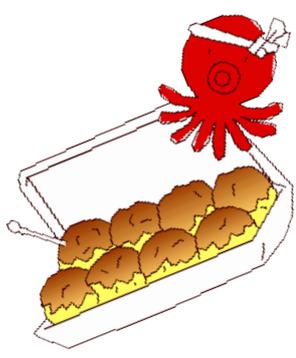
- ◇ みんなで学び合う
- ◇ みんなで協力する

- ◇ 一步一步
- ◇ あきらめない



第5学年スローガン(子どもたちと共に作りました。)

- ㊦ くさん学んで
- ㊦ うどうし
- ㊦ さしい心と
- ㊦ ぼうにあふれる5年生！！



(2) 第5学年の学習と生活

<学習>

「勉強ができる人」ではなく、「勉強が上手な人」「自ら学び続ける人」になることが目標→「自立・自律」



- 「分からない」「できない」「間違えてしまう」ことをみんなで解決するのが授業であり、学びを自分事として捉え、自ら学びに向かうことが大切。
 - 一つ一つの学習をていねいに繰り返しやり遂げることが基礎・基本の定着につながる。
 - 学校で統一している学習規律を守り、学習規律を守るよさを実感する。
 - ・ シンプルで使いやすい学習用具を使うと、学習しやすい。
 - ・ 学習用具を整理しておくこと、すぐに使える。
 - ・ 正しい姿勢で学習すると、やる気が出て、集中できる。
 - 「聞く学級」から「聴く学級」、さらには、「訊く学級」へ
 - ・ 聞く（相手の言いたいことを肯定的に受け止めようとする。）
 - ・ 聴く（話の内容を正確に聞き取ると共に、相手の思いも想像したり察したりしながら耳を傾ける。）
 - ・ 訊く（話の内容について、疑問に思ったことを尋ねたり、感想を伝えたりすることで、お互いに理解を深める。）
 - 家庭学習の習慣化
 - ・ 家庭学習の時間（学年×10分+10分=60分）
 - ・ 3点固定（家庭学習を始める時刻、取り組む場所、学習する時間の3つを固定）
 - ・ 量と質の充実（集中力アップとメディアコントロール）
 - ・ やらなければならない宿題（復習中心）をやり遂げる。（音読や漢字練習、計算ドリル、課題プリントなど）
- ※ テレビやゲーム、インターネットの動画など、興味・関心を引く物が身近にある環境の中で、自分の感情をコントロールしながら家庭学習に取り組み、自分で学びを進める力を身に付けることが、学力向上のために必要不可欠です。
- ・ 自主学習の工夫(内容や方法、ノートの使い方など)
- ※ 内容の選択の仕方、取り組み方、ノートの使い方など、具体的なモデルを示しながら、ガイダンスを行っていきます。また、輪番制「はなまる自主学習ノート」で、自主学習への取り組み方を学び合えるようにします。

ご家庭におかれましては、家庭学習に取り組みやすい環境づくり、助言や励まし、称賛の声かけなどのご支援をお願いいたします



<生活>

- 高学年としての立場や責任について考え、粘り強く実践し、みんな・学校のためになることを行動するよさや喜びを実感できるようにする。→**自主**
- 友達の考えに耳を傾け、違いを認め合いながらよりよい考えを生み出したり、困っている友達や下級生の思いに寄り添い、互いに理解し合い助け合って生活したりできるようにする。→**協力**
- どうしたらもっとよくなるか、目の前の問題を自分事として捉え、進んで解決策や実践プランを考え、創意工夫しながら実行できるようにする。→**創造**

このようなことを実現できるように、基本的な生活習慣を身に付けることの大切さについて働きかけていきたいと思えます。基本的な生活習慣を身に付けることは、はじめのある生活の実現につながります。また、忙しい高学年の生活の中で、自分が自由に使える時間を生み出すためにも必要なことです。ご家庭でも、基本的な生活習慣が身に付くようにご配慮ください。

- ・ 就寝時刻
- ・ 起床時刻と朝食
- ・ 持ち物の整理や管理
- ・ 言葉遣い
- ・ あいさつや返事
- ・ ゲームをしたり動画を視聴したりする時間
- ・ ハンカチとティッシュの携帯 爪の状態のチェック
- ・ 手洗い
- ・ 歯磨き
- ・ 道路の歩き方や自転車の乗り方 など



当たり前のことですが、よい習慣は子どもたちにとって一生の宝になります。ご理解とご協力をお願いいたします。

(3) その他

- 修学旅行について・・・東京方面の予定(積立金より支出)
 - 卒業アルバムについて・・・例年どおり、榎本写真事務所への依頼を希望する場合、代金に応じて、積立金の集金計画の見直し・検討が必要になるかもしれない。
 - タブレット活用について・・・タブレット使用のルール厳守
個人情報保護、著作権の尊重
- ※ タブレットの使い方や情報モラルについては、学校でも指導しますが、ご家庭でも繰り返しご確認ください。